

マーケット > コラム > NQNスペシャル > 記事

朝刊の株式相場表とオープン基準価格表を掲載前日夜21時までに電子版で公開します

NQNスペシャル

超低金利の行方 識者に聞く長期的視点

2019/9/17 11:34 | 3046文字 [有料会員限定]

(1/2ページ)

保存
 共有
 印刷

 その他

世界の金利は歴史的にみればなお極めて低い水準にある。米中貿易協議の進展期待により足元で反転上昇の兆しもあるが、日本やドイツの長期金利の指標である10年物国債利回りは依然マイナス圏に沈んだままだ。欧州中央銀行（ECB）の金融緩和再開に続き、米連邦準備理事会（FRB）が追加利下げに動くとの観測が広がる。中東の地政学的リスクも高まっており、金利がこの先も低水準にとどまるとの見方は根強い。超低金利の行方について、長期的な視点から識者に聞いた。

「長期金利、マイナス0.7%まで低下余地」法大・水野氏

日本の長期金利は現在マイナス0.2%前後で推移する。法政大学の水野和夫教授は2020年代までを見通して「（日本の）物価上昇は見込めず、マイナスに陥ると予想される潜在成長率に収束してマイナス0.7%が低下の目安となる」と指摘する。（聞き手は日経QUICKニュース 川上宗馬）

■資本主義システムは限界に

——日本の長期金利はどこまで低下余地がありますか。

「労働力人口の減少傾向を考えると、日本の潜在成長率は20年代にはマイナス0.7%程度まで落ち込むとみている。一方、供給過剰の状態が続いているため物価上昇率はゼロ近傍が続くとみられる。物価上昇率と成長率を足し合わせた水準に収束していくと考えられる長期金利は、マイナス0.7%程度が低下の目安となる。景気の悪化局面では一時的にもっと低下する可能性もある」



法政大学の水野和夫氏

——なぜ世界的に超低金利が続くのでしょうか。

「16年時点では、主要国のなかで長期金利がマイナス圏にあったのは日本とドイツだけだった。19年になるとフランスも加わり、英国もゼロ%台まで低下している。08年のリーマン・ショック以降、近代の資本主義システムをもとにした経済成長モデルが限界を迎え行き詰まっている」

——具体的には。

「日本をみると衣食住で供給過剰が見受けられる。食品廃棄物のうち、約2割はまだ食べられる『食品ロス』にあたる。総住宅に占める空き家の割合は1割を超えるのに毎年100万戸近い住宅が供給されている。これらは新たな投資先がないことを示している」

■今の技術革新、産業革命の延長線上にすぎない

——新技術が色々な分野で生まれていませんか。

「IT（情報技術）分野での技術革新などは、蒸気機関が発明され様々なモノがより速く届けられるようになった産業革命以後の流れの延長線上にすぎない。電子商取引（EC）サービスにより、注文した商品は当日中に届けられるようになったが、運転手の負担を超える価値が生み出されているとは思えない。『GAFA』と呼ばれる米IT企業が生み出す新サービスは、『より速く』を追求したものにすぎない」

——金利の歴史から学べることは。

「16世紀のイタリアでは複数年にわたり低金利が続いた。農地の拡大余地がなくなり、コシヨウを手に入れるための地中海貿易はオスマントルコに遮断された。この結果、新たな投資先がなくなった。当時のイタリアにおける中世の経済システムの限界は、今と重なる」

——物価が大きく下落した昭和恐慌からの教訓はありますか。

「1930年前後の昭和恐慌は、供給不足のなかで金融を引き締めたという貨幣現象から生じたものだ。今は世界的に供給過剰で、かつ金融緩和に傾いている状況であり、昭和恐慌のよ

🕒 閲覧履歴

📁 銘柄フォルダ

検索急増ランキングを表示しています

- ▲日産自 ▲三菱UFJ ▲イオン
- ▲キヤノン ▲パナソニック ▲みずほFG

日経会社情報
 適時開示
 株主優待

日経電子版特集 [PR]

「RPA×AI」を日本のビジネスで活用する方法とは？ 詳しくはこちら 提供：UiPath

- 注目の投稿 - 一覧 >

宮崎 浩 (エコノミスト)

増税前から財布のヒモは固かった

日用品メーカーに勤務する友人が、「消費増税の駆け込み需要に備えて、倉庫まで借りて増産したのに、商品は全然動かなくなっ...

📄 会員向け新着情報【日経コンシェルジュ】 >

Paraviが電子版とセットでお得に！

最新の市場情報 ※営業日はリアル更新

日経平均株価(円)	22,207.21	+408.34
日経平均先物(円) 大取,19/12月	22,540	+340
TOPIX	1,620.20	+24.93

業績ニュース 株価材料 記者の目

- 株価指数先物・オプション大引け 先物は続伸 コール買われる (10/15 15:45)
- 東証大引け 3日続伸、米中部分合意で 2万2000円回復し5カ月半ぶり高値 (10/15 15:28)
- 新興株15日 ジャスダックが2カ月半ぶり高値 マザーズ反発、主力株に買い (10/15 15:18)
- J P X日経400大引け 続伸、222ポイント高の1万4492 (10/15 15:13)

アカウント一覧

CMEグループは、農産物のリスク管理や、将来に向けた計画作成を支援します。詳しく見る >

日経チャンネルマーケット

日経チャンネルマーケットでは、マーケット・経済専門チャンネル日経CNBCの番組をライブ配信。配信中の番組から注目のトピックスをお届けします。

今晶のクリスタルアイ「長持ちしにくくなった『テーマ』」



日経QUICKニュース 今晶
10月15日(火) 14:20

「リブラ」21社・団体が参画 シュネーブで設立総会

I T見本市シーテック開幕 空飛ぶクルマやロボット

うな事態は考えにくい]

10月15日 (火) 13:00



■銀行は貸出金利引き上げの努力を

—金融機関はどのような方策をとるべきでしょうか。

「日銀はマイナス金利を導入しても物価目標を達成できなかった。供給不足の時は金融緩和が効果的だが、今は供給過剰の時代で効果は薄いだらう。金利とは将来まで消費を我慢する報酬といえ、ゼロ以下の金利は資金が隅々まで行き渡っていることを示している。銀行は貸出金利を引き上げる努力をすべきではないか。同じ資金でも、株主が投じた資本は企業に対して効率よく使うように自己資本利益率 (ROE) の向上を求めている。銀行からの借り入れでどんどん金利が下がるのは変な話だ」

＜水野和夫氏の略歴＞
1980年早大院修士課程修了、八千代証券 (現三菱UFJモルガン・スタンレー証券) 入社。日大教授を経て現職。著書に「人々はなぜグローバル経済の本質を見誤るのか」(日本経済新聞出版社) など。

1 2 次へ>

保存 共有 印刷 複製 ツイート その他

類似している記事 (自動検索)

- FRB議長「景気悪化なら追加利下げ」 会見要旨 (2019/9/19 6:55更新)
- 利上げを忘れた中央銀行〜物価の呪縛、膨らむリスク (2019/6/20 19:37)
- 緩和で市場の機能封印 長期金利8%→マイナスに (2019/4/29 6:00)
- 長期金利再びマイナス 23日に日銀総裁会見、景気認識に注目 (2019/1/22 20:00)
- 日銀、緩和へ打つ手乏しく 利下げなど重い副作用 (2018/11/11 1:31)

関連キーワード

- 水野和夫 小林慶一郎 ローレンス・サマーズ FRB 欧州中央銀行 超低金利
- ガーファ 長期金利 ドイツ 三菱UFJモルガン・スタンレー証券 八千代証券 日本銀行
- 法政大学

関連企業・業界

日経会社情報 DIGITAL

企業 : 日本銀行

＜电子版トップ <マーケットトップ

- PR ローランドベルガー 長島聡 「日本型イノベーションに秘める可能性」/日産
- PR あなたの会社は入っている？東証の企業価値向上表彰
- PR 「IRで日本が変わる」の著者が語る、大阪の未来図とは/日本MGMリゾート
- PR 香港と中国が直面する、2047年問題とは★金融そもそも講座
- PR 野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド/野村アセット

NQNスペシャル 一覧

- 次は人民元、市場に待つ米中段階合意の難路 (10/15)
- 米中部分合意、中国現地の市場の見方 (10/15)
- トヨタファイナンス3年債、初の利回りゼロ% 突破した「2厘」の壁 (10/11)
- 韓国銀、16日にも追加利下げか 輸出低迷、9月CPIは初のマイナスに (10/11)
- 米レバレッジド・ローン指数、9カ月ぶり低水準に 額面割れ相次ぐ (10/11)
- インド、タマネギ高騰に揺れる 国民不満の芽に、輸出停止で他国の政情に影響も (10/10)
- 円、米中協議前に一喜一憂 「期待外れで105円台」予想も (10/10)
- ギリシャのマイナス金利、日本勢の買いも一役 低コスト魅力 (10/10)
- 米大統領選まで1年 NY市場はどうみる (10/10)
- 「増税が逆風」「キャッシュレス増加」 小売り・外食決算から (10/9)

NQNスペシャルをもっと見る

読まれたコラム

10/16 (水)

	米ブラックストーン、ユニゾにTOB ユニゾの同意…	主要企業ニュース
	狙いは「下方修正銘柄」 先回り買いで年末高も	スクランブル
	セブン&アイ、リストラを後押しした「20倍」の格差	記者の目

[PR] 一覧はこちら

金融経済初歩からの質問

近い将来、世界的な景気後退やバブル崩壊は起きるのか? (前編) まなぼう Q&A



理想の暮らしをみつける

「住まいづくりナビセンター」でプロに相談 失敗しない住まいづくりとは?



注目ランキング

検索急増	値上がり率	東証1部
1:三菱UFJ	1: e B A S E	+15.45%
2:日産自	2:日基技	+14.49%
3:キャノン	3:北野建	+13.15%
4:パナソニック	4:不動産トラ	+9.62%
5:イオン	5:東洋電	+9.15%
6:三菱商	50位まで表示>	
7:日立		
8:みずほFG	値下がり率	東証1部
9:コマツ	1:UMCエレ	-16.89%
10:e B A S E	2:インターアク	-11.59%
11:トヨタ	3:パソナG	-7.47%
12:三井住友FG	4:ハブ	-6.62%
13:日基技	5:チヨダ	-6.41%
50位まで表示>	50位まで表示>	

売買高 | 検索急増 | 予想PER低位
東証売買代金 | 時価総額上位 | PBR低位

注目ランキングをもっと見る>

日経電子版へのご意見・ご要望 >